

しゃくなげ



DENSOKU
No. 490号

発行日 2021年2月15日
発行 株式会社でんそく

組織力とコミュニケーションについて

取締役総務部長 高橋 政寿

新年も早2月中旬となり、今年度の成果を確実なものにするともに次年度の経営計画や予算編成について各部の協力を得ながら準備を進めているところです。社長からもよく言われることですが、でんそくは計画を作って終わりという傾向が良く見られるとのことですがそうならないよう自らがPDCAをしっかり回し成果を出せるような体制ができるようになればと思っています。このような体制を構築するためには組織力を強くすることが必要だと思います。ここで組織力とはどのようなことなのか私自身もよくわかっていませんが一般的には次のようなことだといわれています。「日々の活動の中で確実に**成果を作り出し、組織自身を成長させる力**」のことだと思います。組織の成長のためには組織自身が考える力を持つこと、すなわち私たち一人ひとりが各々の役割の中で自ら考える力を持つことではないでしょうか。もちろん考える方向性として組織目標があります。具体的には経営理念(ビジョン)、経営方針並びに各部の方針や行動計画があります。また、一人ひとりが考え行動するときの目安として、でんそくフィロソフィがあります。なお、計画策定に当たって

は、お客様等のニーズの変化や厳しい経営環境の変化を見極め一人ひとりが考えることが必要だと思います。計画策定後は目標達成のためにPDCAを回していく必要があります、そのためには全従業員が同じベクトルで目標に向かい進んでいくことが求められます。組織目標の達成を下支えしているのはコミュニケーション力だと思います。社長と従業員、上司と部下、従業員同士のコミュニケーションが欠かせません。特に上司の方は普段のコミュニケーションを良くし、なんでも話しやすい雰囲気を作るため朝と終業時のあいさつはもちろん、日ごろ何気なく声をかけ褒めることも必要だと思います。

以上組織力とコミュニケーションについて申し上げましたが、年末にお寺様から「ブツダがせんせい」という子供向けの本が送られてきました。内容はブツダのおしえとして「わるいこと」「やさしさ」「大切なこと」「しあわせ」についてわかりやすく書いてあり、読ませていただきました。でんそくフィロソフィに記載してある内容もありました。私のコミュニケーションをとる基本として心がけていきたいと思いました。

佐久間第二発電所 コントロールセンター

製造部 専任課長 南山 優

電源開発株式会社様 佐久間第二発電所向2号機コントロールセンターを、株式会社 J-POWER ハイテック様より受注しました。

今回製作した盤の構成は、9面一式(ユニット盤8面+ケーブル処理盤1面)全幅5400mm、電源ケーブルCV400sq2条、ユニット数20(最大負荷200V-90kW直入れ)です。手取川第一発電所に続き二度目ですが、コントロールセンター本来のユニット引出形を製作するのは初めてでした。

お客様の協力により、事前に既設コントロールセンターの調査をさせていただきました。ユニットは、動力回路(一次/二次)接触子と制御回路コネクタ(3個)を取外して引出しますが、ユニット引出

構造や、コネクタ配線等、図面ではわからない詳細を確認することができて大変参考になりました。

コロナ禍で、この様な大形物件を製作期間が短い中で製作できるか心配しました。初めての事で苦労した所もありましたが、各課が協力して完成することができました。盤出荷が1月の大雪の影響を受けて1週間遅れましたが、現地試験期間を短縮して行い、無事に納品することができました。

今回の経験を、次のコントロールセンターの製作に生かしたいです。



安全パトロール!

総務部 K.A



1月20日、黒部峡谷鉄道(株)様 EDR20 号補助電源装置改造の自主安全パトロールに同行させていただきました。作業は、黒部峡谷鉄道(株)様の検修庫でされており、検修庫には運転期間が終了して次のシーズンに向けて修理が行われる機関車がずらっと並んでいました。そのうちの1台を助田さんが責任者となって計6名で作業しておられました。ちょうどパトロールの時は、機関車の屋根を外すところで、外した屋根を天井クレーンで吊り上げゆっくり移動させて床におろしておられました。大きく相当な重量がありそうな屋根なので、皆さんとても慎重に作業しておられ、「気を付けるよ」と声かけをされていたのはとてもよかったです。屋根を外すのは、大きな機械を交換するためだそうで、機関車がこうして新しく生まれ変わっていくのだとわかりました。次のシーズンでもでんそくの作業員の人達の手で生まれ変わった機関車が元気に走ってくれることを楽しみにしたいと思います。作業しているところは暖房もなく寒い場所ですが、皆さん風邪などひかないよう気をつけて、これからも安全第一で作業終了までがんばってください。



職長能力向上教育を受講して

工事部 K.K

2月3日、株式会社KANSOテクノス様主催の講習を受講してきました。受講対象者は、「職長・安全衛生責任者教育」の修了者で、概ね5年毎(定期的)に再教育を受けなければなりません。受講内容は、①職長等及び安全衛生責任者として行うべき労働災害防止に関すること(2時間)②労働者に対する指導又は監督の方法(1時間)③危険性又は有害性等の調査に関すること(30分)④グループ演習(2時間10分)計5時間40分の講習でした。

建設業における労働災害防止対策を推進する上で「職長」は作業員の安全衛生向上に努め労働災害を防止するという重要な役割を担っています。現在、建設業界は人材の高齢化による就業人口の減少と外国人労働者の増加、異業種からの転職者で様々な環境変化がおきています。職長は現場作業を円滑に進める為、指揮・監督・指導する立場でコミュニケーション能力も問われます。今後も相手を思いやり、気づかい、尊重することを忘れず謙虚な姿勢で仕事に取り組んでいきたいと思っています。

ISO9001:2015

再認証審査を終えて

製造部 T.O



ISO9001:2015 の再認証審査を大雪の中、県外よりお越し頂き1月12日、13日の2日間に渡って鹿内孝一先生、久司陽清先生、岩木進先生の3名の方々に審査して頂きました。

監査の結果は、協力会社及び測定機器(協力会社分も含む)の管理について特に測定機器の管理(膜厚計)で当社と協力会社の校正証明書(膜厚計)の所在、受入時の社内検査の有無その他の質問をされましたが不適合、観察事項等なく無事終了しました。

私自身、時間がかなりあったのに前任者との引継ぎが悪く準備不足だったのと今回が初めての被監査部門の代表という立場で審査を受けましたが、不慣れと緊張の為受け答えが悪く、時間が掛かり監査員の方にご迷惑をおかけしたと思います。

ISO9001:2015 は色々な面で管理に厳しいと話で聞きました。次回は今回の失敗を活かして余裕を持って臨みたいと思います。



★ 資格取得コーナー ★

<2月> 第二種電気工事士
工事部 M.O

～編集後記～

早いもので2月も残りわずかとなりました!まだまだ寒い日が続いていますが、皆さん体調はいかがですか?

私の読んでいるメルマガで昔から言われている「1月は行く(往ぬ)、2月は逃げる、3月は去る」というものが紹介されていました。由来は「1月は新しい年の始まりや正月、2月は普段より日数が少なく、3月は年度末や新しい生活の準備など、この時期は特に忙しい時期であるということから、1月、2月、3月の頭文字を取って「行く」「逃げる」「去る」と表現したそうです。その通り、新年明けてから忙しく時間が過ぎて2月を迎えたたん「あれ?もう2月?」と思ったほどあっという間に1月が過ぎてしまいました。2月は少しでも計画を立てて言葉通りにならないようにしなければ!と思っているのですが…。とりあえず気付いたら3月も過ぎて4月でした!なんてことにならないよう、しっかりと計画を立てて、1日、1日を逃さないようにしたいです!改めて「時間を大事にしよう!」と考えさせられました。(Y.M)